

令和4年度 教育活動に関するアンケート結果

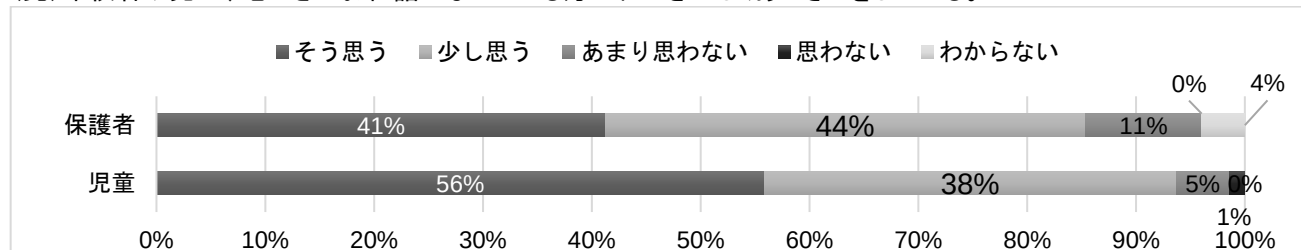
令和5年1月実施 回収率(保)60%(児)97%

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。今年度はコロナ感染症対策の徹底を図りながらも可能な限り教育活動を止めることなく、児童にとって楽しく学びの深まる生活・学習を目指してまいりました。以下の集計結果やいただきましたご意見をもとに、来年度の教育活動の改善を図ってまいります。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

なお、いただいた自由意見の詳細は個人が特定されない形でホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

1 (保) 子供は、家庭以外でもその場に合った挨拶をしている。

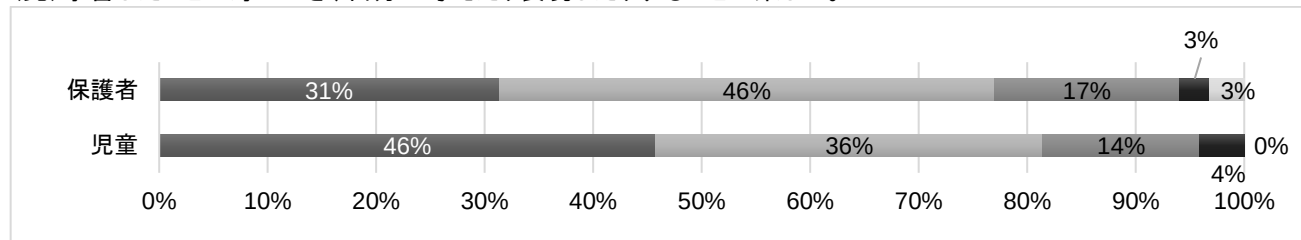
(児) 来校者や先生、地いきのお世話になっている方にれいぎ正しくあいさつをしている。



保護者の85%(→昨年度との比較で変化なし)、児童の94%(↑昨年度との比較でプラス)、が肯定的な回答でした。児童は昨年度の88%より大きく上昇しており、登校時だけでなく校内の廊下ですれ違う時や校外学習等でも自分から先に挨拶できる児童が増えています。代表委員を中心に児童が挨拶運動を展開したことや、コロナ対応の緩和から安心して声が出せるようになったことも影響していると考えられます。コミュニケーションの大切な核として、引き続き北西小スタンダードの挨拶の基本「相手の目を見て」「いつも」「さきに」「つたわるように」を意識させ、継続していきたいです。

2 (保) 子供は意欲的に学習に取り組み、内容を理解している。

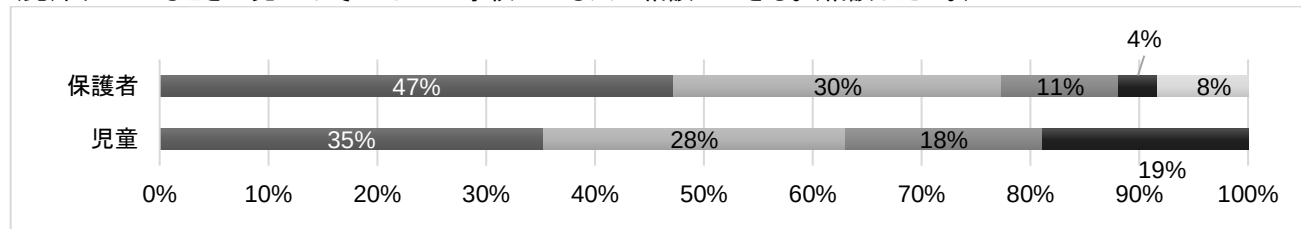
(児) 学習したことが身につき、自分で考えたり表現したりすることが楽しい。



保護者の77%(↓昨年度との比較でマイナス)、児童の83%(↑)が肯定的な回答でした。3～6年では担任と加配教員による算数習熟度別指導が展開できない期間が長かったことを心配するご意見がありました。学びに不安を抱える児童には教師からより多くの言葉掛けをするよう意識して指導に当たりました。授業では、話し合い活動やグループ活動ができるようになってきたことから、児童が学習の楽しさを感じる場面が増えたと考えられます。校内研究では、国語科の授業研究を実施し、互いの考えや気持ちを適切に伝えるためのコミュニケーション力や読解力の向上をねらいとして来年度も教員の指導力向上を図ります。

3 (保) 子供のことで困ったときに教職員などに相談ができる。(したい。)

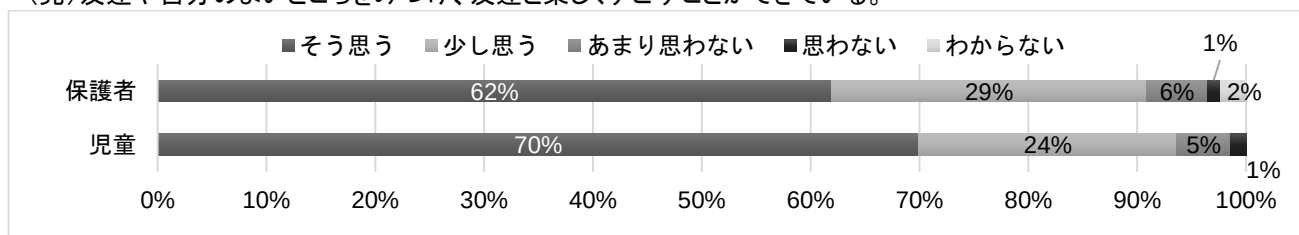
(児) 困っているときに先生やそのほかの学校にいる人に相談ができる。(相談したい。)



保護者の77%(↓)児童の63%(↑)が肯定的な回答で、児童は他の項目と比較して低くなっています。思春期に差し掛かる高学年は低・中学年に比べて「あまり思わない」「思わない」と答えた割合が高く、大人に相談しにくい児童の心情に寄り添う相談体制や教師側からの働きかけが必要だと考えられます。また、保護者の8%が「わからない」と回答していることから、担任以外にもさまざまな相談先があることをご理解いただき、いつでも安心してご相談いただけるよう日頃から信頼関係の構築に努めていきます。3年の心のふれあい相談員との面談、5年のスクールカウンセラーとの面談は来年度も実施します。

4 (保) 子供は友達とすすんで関わり、楽しく学校生活を送っている。

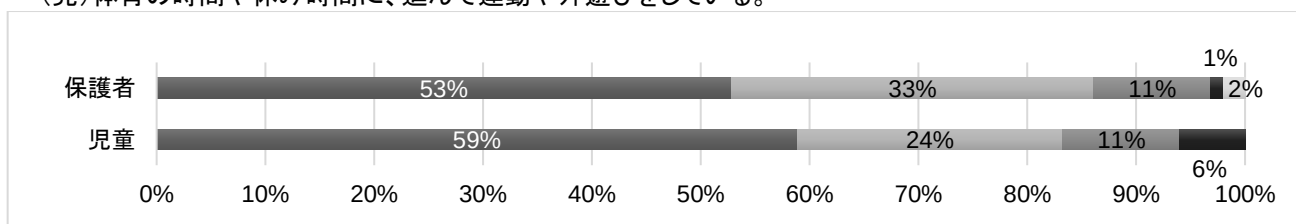
(児) 友達や自分のよいところを見つけ、友達と楽しくすごすことができている。



保護者の91%(↑)、児童の 94%(↑)が肯定的な回答でした。学校が友達と会える楽しい場所であることが児童にとって一番の願いであると考え、一人一人の人権感覚を養い、いじめや差別を許さないことを徹底していきます。また、少数でも何かしらの不安を抱えている児童、保護者の方に対して十分な対応ができているかを振り返り、支える必要があります。子供支援委員会(校内)、外部機関である子供家庭支援センター等との連携を密に行っていきます。

5 (保) 子供は体育の学習や外遊びで積極的に運動に親しんでいる。

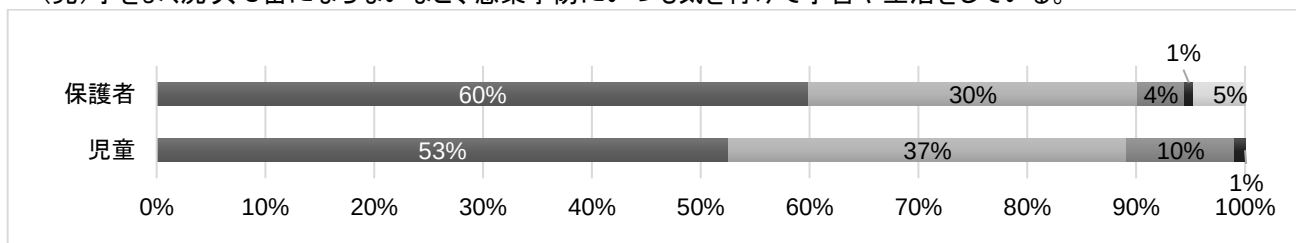
(児) 体育の時間や休み時間に、進んで運動や外遊びをしている。



保護者の88%、児童の86%が肯定的な回答でした。生活指導では雨天、猛暑日を除き中休みに外に出ることを基本としています。縄跳びやマラソン、「北西ギネス」等の全校的な取組で運動のきっかけ作りをした他、月1回のたてわり班活動の時間を十分に確保し、異学年で遊ぶ機会も大切にしています。特に低学年では、日常の遊びや体育の時間の中で様々な動きを身に付けていくことが重要だと考えています。

6 (保) 感染症への対策が適切に行われ、児童が安心して学校生活を送っている。

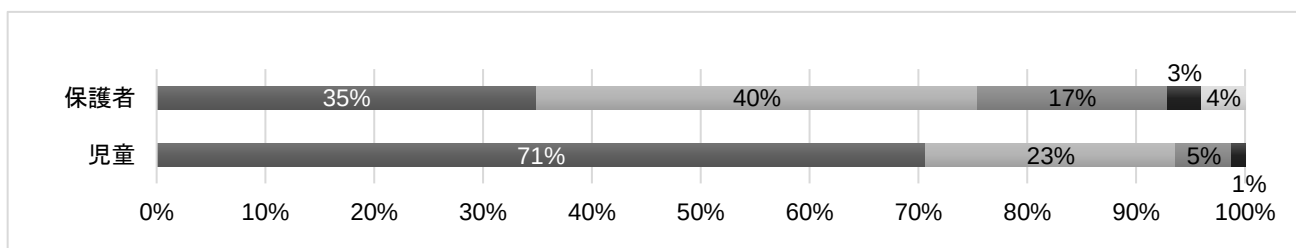
(児) 手をよく洗う、3密にならないなど、感染予防にいつも気を付けて学習や生活をしている。



保護者、児童とも90%が肯定的な回答でした。感染の流行がようやく収まりつつあります。学校行事の実施方法や、マスクの扱い等については、今後も都、区のガイドラインに沿って検討していきます。新型コロナへの感染を個人情報として扱っていたため人数の集計をお知らせしなかったことから、校内の感染状況が分かりにくかったとのこと意見をいただきました。

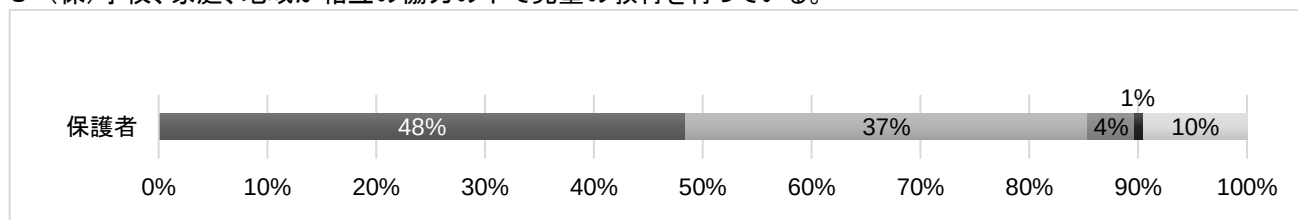
7 (保) 配布された児童用タブレット(クロムブック)は、児童の生活や学習における学びの深まりに効果がある。

(児) タブレット(クロムブック)を使うことは、自分の生活や学習の役に立っている。



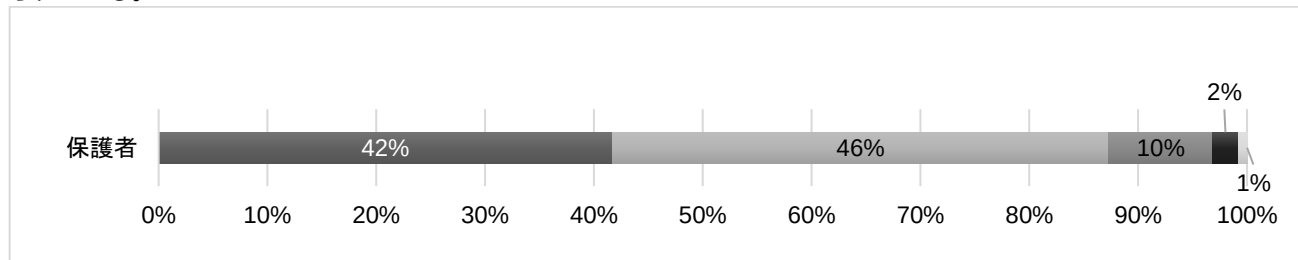
タブレットの活用について、児童は94%(↑)が肯定的な回答をしています。保護者からは、どのように活用しているかがよく伝わっていないこと、情報モラルの問題、学級・学年によって活用の頻度が違うのではないかと心配などのご意見がありました。学年の段階に応じた活用計画やプログラミング教育を充実させ、使用時のルール of 徹底や情報モラル教育の充実を図っていく必要があります。個別の学習にもグループ学習にも役立つツールとしての活用を図っていきます。

8 (保)学校、家庭、地域が相互の協力の下で児童の教育を行っている。



PTA では、活動への理解を深め、参加しやすい形にしていこうと活動の精選や負担の軽減について今年度も検討を進め、オンライン会議や印刷物の電子化などにより、改善を図っております。地域の皆様には、防災学習、2 年生の生活科見学、3 年生の地域学習、5 年生のミシンの学習補助等、様々な体験学習の充実にご協力を賜りました。

9 (保)学校からの配布物、学校連絡メール、タブレット(Class Room)、HP 等により、必要な情報がわかりやすく伝えられている。



現在、ホームページには学校だより、保健だより、給食だより等、月ごとの全校配布物を載せていますが、学年だよりやその他の配布物についてもメールやデータで配信してほしいとのご要望が挙がっています。ホームページの活用は課題の一つとして認識しておりますので、できることから進めていきます。